

本号では、最近注目を浴びる大メコン圏における陸路によるクロスボーダー輸送の最新動向を、越境通関の制度面における課題と展望を交えてお届けします。

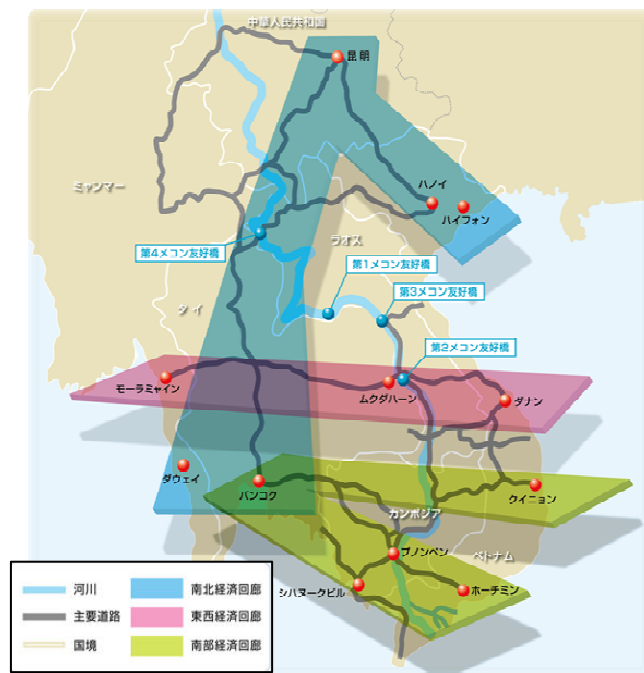
### 1. メコン諸国の越境交通協定の完全導入

2015 年末の ASEAN 経済共同体(AEC)の発足で、域内の自由化が進み、国際貿易量も増加の一途をたどっています。特に、インドシナ半島で形成される大メコン圏(\*1)では陸路を活用した越境物流が盛んとなっており、日本によるODA支援を初めとする物流インフラの整備が進み、メコン諸国を結ぶ経済回廊(\*2)の活用が目立っています。また、ハード面のインフラ整備に留まらず、各国間で交わされる越境交通協定(\*3)に関しても、2015 年 9 月、ミャンマーによる全ての付属書の批准を終えて、全加盟国での導入が完了しました。

(\*1) GMS(Greater Mekong Sub-Region)とも呼称され、メコン川流域のタイ・ベトナム・ラオス・カンボジア・ミャンマーのASEAN・5 か国に、中国の雲南省・広西チワン族自治区を加えた 6 国で形成される経済圏。

(\*2) GMS には複数の経済回廊が整備されており、地図中の「東西経済回廊」と「南部経済回廊」は日本企業の利用頻度の高い主要回廊となる。

(\*3) 2007 年 GMS の 6 国全てが合意した CBTA(Cross-Boarder Transport Agreement)を指し、GMS 内での越境手続きの円滑化を図るための包括的な協定。



大メコン圏における主要経済回廊 (弊社作成)

### 2. 共通検査導入エリアの拡大

CBTA における越境手続き円滑化の柱となるのが、国境地域に 2 国間の通関関係の職員が集まる共通検査エリア(CCA: Common Control Area)で、輸出入に関わる各種検査を同時に行うシングルストップ検査 (SSI: Single Stop Inspection)となります。本制度については、2015 年 1 月 1 日に東西経済回廊にあるベトナム(ラオバオ)とラオス(デンサワン)の国境に初めて導入され、詳細は弊社”Tokio Claims Journal” No.25(2015 年 8 月号)に掲載しておりますが、今般同じ東西経済回廊の第 2 メコン友好橋でつなぐタイ(ムクダハン)・ラオス(サワンナケート)国境でも、2016 年中に CCA を導入する見込みであることが JETRO 調査より明らかになりました。既にラオス側のサワンナケート国境では CCA の施設は完成しており、輸入地側で 2 か国の職員が合同検査を行う SSI の本格運用に向けて準備を進めているとのこと。



ラオス・サワンケート国境における税関施設（弊社社員撮影&Google Map）

### 3. クロスボーダー輸送における課題と展望

タイおよびその周辺国に製造拠点を展開する日本企業が増加する中、前述のタイ国境での SSI 導入による通関手続きが円滑に進むことは明るいニュースといえますが、一方で輸入申告の方が輸出申告よりも確認項目が多いことから 2 国の検査員の検査項目が別々に実施されていたり、タイ・ラオス間においては通関システムの接続が出来ていないため CCA 間で情報のやり取りができないなど、大幅なリードタイムの削減にはまだ課題が残っているようです。

また、本年 10 月 7 日に米国による経済制裁が全面的に解除されたミャンマーでは、外国企業の投資をミャンマー企業と同等に扱う新投資法(\*4)が 10 月 18 日に大統領署名により成立し、同国に外国企業が進出しやすい環境が着々と整いつつあります。物流に目を転じますと、タイからミャンマーに海上輸送ではマラッカ海峡経由で 2 週間以上を要するところ、道路インフラ整備が進む陸路輸送では 3~4 日程度で輸送できるサービスも開始しており、今後タイ・ミャンマー間国境エリアでも SSI が導入されることになれば、上述の課題はあるものの GMS における域内物流の更なる活性化が見込めそうです。

(\*4) ミャンマーの投資企業管理局 HP (<http://www.dica.gov.mm/en>) 内 Information に同法の仮和訳版が掲載。



本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。

船舶・貨物・運送の保険の情報サイト「マリンサイト」

[http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine\\_site/index2.html](http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/hojin/marine_site/index2.html)